



R2 宇部市教委の2つの柱は 小中一貫教育とコミスク推進

青空に美しく映える桜とともに令和2年度がスタートしました。本年度も地域とともにある学校づくりをめざして、宇部市のコミュニティ・スクールを推進して参りましょう。今年度もよろしくお願い致します。

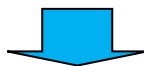
昨年度まで、本課から今鶴、山本の2名が教育専門企画員として学校運営協議会を担当していました。年度末人事異動により、増野（前 山口市立良城小学校長、元 上宇部小学校長）と澤田（前 恩田小学校長）が新たに地域連携教育企画員として担当することとなりました。また、県教育庁から笹村さんが地域連携教育アドバイザーとして担当されますので併せてよろしくお願いします。

さて、令和2年度 宇部市教育委員会の学校教育推進の2つの柱は、「小中一貫教育」と「コミュニティ・スクール」の推進です。義務教育9年間を見通し、子どもたちに生きる力を育む上で、地域とともにある学校づくりを充実させることは極めて重要です。年度初めに当たり、コミュニティ・スクールの取組をより充実させるためのポイントについて再確認してみたいと思います。

コミュニティ・スクールの取組をより充実させるためのポイント

- 目標やビジョンが具体的、明確であり、小中9年間を見通したものになっているか。
- 目標やビジョンが子どもの変容をめざし、学校・家庭・地域で共有されているか。
- 目標の達成に当たり、校務分掌や地域協育ネットが連動し、組織的な取組となっているか。

その為に、学校運営協議会では



- 開催前** 学校運営協議会開催前に校長と会長が協議会のねらいを共有したか。
- 開催時** 学校からの情報提供は、簡潔・明瞭であり、課題が共有できたか。
 - 楽しい雰囲気や自由活発な意見交換ができる場であるか。
 - 単なる情報交換ではなく、子どもの変容をめざした組織的かつ具体的な手立てが持てたか。
- 開催後** 協議内容を全教職員で共有するとともに、学校だよりやコミスクだよりで、保護者や地域と共有できたか。
 - 協議会で議論した内容をもとに、子どもの変容に向けて、できることから具体的な協働活動に結びつけているか。

2018.10 コミュニティ・スクールだより参照

コミュニティ・スクールに関する活動情報をお寄せください。HP 更新に活用します。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課

Tel 0836-37-2780

E-mail : ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp